

事後評価シート

【評価年月】 平成16年4月
 【主管課・室】 地球環境局環境保全対策課
 【評価責任者】 環境保全対策課長 荒井 真一

施策名、施策の概要及び予算額

施策名	- 1 - (3) 酸性雨対策
施策の概要	越境大気汚染問題である酸性雨対策を国際的に協調して進めるために、東アジア地域を対象として平成13年1月から本格稼働を開始した「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(以下、本表においてE A N E Tという。)」を推進するとともに、長期モニタリング計画に基づく国内モニタリングを着実に実施する。また、東アジア地域における酸性雨対策の推進に向けた調査研究等の国際協力を進める。
予算額	563,624千円

目標・指標、及び目標の達成状況

目標	東アジア地域を中心に、国際的な連携の下でのモニタリング、調査研究等の国際協力を進め、酸性雨による環境影響を防止する。
達成状況	酸性雨による環境影響を防止するための取組を実施した。 ・ E A N E T活動を推進するとともに、基盤強化を進めた。 ・ 長期モニタリング計画に基づく国内モニタリングを着実に実施した。 ・ E A N E Tの技術的能力向上のための国際協力を進めた。 ・ 東アジア地域における酸性雨対策に向けた調査研究を実施した。

下位目標1	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(E A N E T)の活動を推進する。				
指標	H13年度	H14年度	H15年度	目標値	H 年度
EANETモニタリング(酸性沈着)地点数(地点)	43	44	44		
達成状況	全ての参加国による自主的な資金貢献について、目指すべき資金分担割合・方法についての合意達成等、E A N E T推進のための基盤(体制面、財政面)の強化に貢献した。				

下位目標 2	酸性雨による環境影響を把握するための国内モニタリングによるデータを取得する。				
指 標	H13年度	H14年度	H15年度	目標値	H 年度
酸性雨国内モニタリング地点数(地点)	48	48	31		
達成状況	<p>長期モニタリング計画に基づき、酸性雨による環境影響を把握するためのデータを取得した。</p> <p>これまでの国内酸性雨調査の結果(過去20年間)に基づく総括的な分析等を実施した。</p>				

下位目標 3	酸性雨に関する国際協力を推進する。				
指 標	H13年度	H14年度	H15年度	目標値	H 年度
EANET分析精度管理目標達成率(%)	93.5	86.2	-		100
達成状況	<p>EANET参加国における酸性雨モニタリングの技術的能力向上のための国際協力を進めた。</p> <p>東アジア地域における酸性雨対策に向けた調査研究等を推進した。</p>				

評価、及び今後の課題

評 価	<p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>近年の東アジア地域は急速な工業化・都市化が進み、地理的な条件から我が国においても酸性雨の環境影響が深刻化することが懸念される。国際的連携の下での継続的なモニタリングの実施とともに、国際協力の強化、発生源に関する対策等が必要である。</p>
	<p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>全ての参加国による自主的な資金貢献について、目指すべき資金分担割合・方法についての合意が達成される等、EANET推進のための基盤(体制面、財政面)の強化がなされた。</p> <p>国内モニタリングによるデータが適切に取得されるとともに、過去20年間のモニタリング結果についての解析がなされ、酸性雨の実態解明が着実に</p>

	<p>進められた。</p> <p>E A N E T 参加国（特に当初参加国）における酸性雨モニタリングの技術的能力の向上がなされた。</p> <p>【効率性】（効果とコストとの関係に関する分析等）</p> <p>コスト面を含め、より効果的なモニタリング体制の整備のために策定した長期モニタリング計画に基づき、効率的にデータの取得ができた。</p> <p><目標に対する総合的な評価></p> <p>酸性雨による環境影響を防止するための取組については、E A N E T の活動の推進等、各種施策が着実に進められている。</p>
今後の課題	<p>E A N E T については、将来の法的位置付けの明確化（条約化）を視野に入れて、2005年から4～5年をターゲットにした中期計画が策定される予定であり、それに基づく発生源対策等に資する具体的な取組が求められる。</p> <p>E A N E T を円滑に推進するため、東アジア諸国モニタリング能力向上のための国際協力の継続が必要であり、特に新規参加国（カンボジア、ラオス）の能力向上は急務である。</p> <p>国内酸性雨モニタリングについては、調査・分析業務を担当している地方環境研究所が、人員削減等により当該業務の遂行が困難となってきたことから、対応が必須な状況にある。</p> <p>黄砂対策については、現在実施されている国際プロジェクト（A D B - G E F 黄砂対策プロジェクト）の提言レポートが16年度中にも取りまとめられる予定であり、17年度からはそれに沿った具体的な対応が求められる。なお、黄砂モニタリングに関連する内容については、当該プロジェクトから既に提言が示されており、プロジェクト全体の取りまとめに先立って16年度から具体的な対応を順次進めることとする。</p>

政策への反映の方向性

反映方向分類	理由の説明
1	<p>既存の施策については、我が国を含む東アジア地域における酸性雨対策の推進に寄与していること、また、これらの地域における国際的な連携を強化できたことから、今後とも継続していくことが適切であるが、将来の条約化を視野に入れて策定される予定のE A N E T の中期計画に基づき、モニタリングに係る技術支援のみではなく、発生源対策に資する取組に対する支援を行うことが重要である。</p> <p>黄砂については、16年度中にも取りまとめられる予定のA D B - G</p>

EF（黄砂対策プロジェクト）の提言レポートに基づき、我が国を含む北東アジア地域におけるモニタリングネットワークの整備を継続するとともに、効果的な発生源対策を選定するための「黄砂モデルの開発」や「発生源対策に資する生態系診断」の実施が必要である。

【別紙】

事務事業シート

施策名	- 1 - (3) 酸性雨対策	
施策共通の 主な施策手段等		
事務事業名 (関連下位目標番号)	事業の概要	主な政策手段等
ア．東アジア酸性雨 モニタリングネット ワーク(E A N E T) の推進、拡充・強化 (下位目標 1)	・平成13年3月から本格稼働を開始しているE A N E Tを財政的に支援するため、その事務局及び技術センターの運営に必要な経費のE A N E T事務局への拠出。	・東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金 (1 6 5 百万円)
イ．国内における酸 性雨モニタリングの 適切な実施 (下位目標 2)	・E A N E Tの活動とも連携しつつ、広域的かつ長期的な酸性雨モニタリングを継続的に実施していくために策定した「酸性雨長期モニタリング計画」に基づく、酸性沈着等のモニタリングの実施。	・国内酸性雨モニタリング推進費 (2 6 9 百万円)
ウ．酸性雨の防止に 向けた国際協力の推 進 (下位目標 3)	・E A N E T推進のため、東アジア諸国に対し、酸性雨のモニタリング戦略・計画策定、技術指導、研修活動等の支援事業を実施し、関係諸国・機関との協力の下にネットワーク活動の円滑な推進を支援。 ・将来の国際協調に基づく酸性雨対策推進のための科学的基盤を固めるため、東アジア地域を対象として酸性雨についての生態影響評価手法に関する調査及び酸性雨原因物質の移動・拡散・反応・沈着のシミュレーション	・酸性雨対策国際協力事業費 (3 0 百万円) ・酸性雨調査研究費 (4 8 百万円)

ンモデルの改良や、モデル検証
のための現地調査の実施。